

# 緑いきづく火の神の里

～豊かな自然と笑顔あふれる

国際環境観光都市を目指して～



新市は九州のほぼ中央に位置し、熊本-大分を結ぶ東西と福岡-宮崎を結ぶ南北の交流軸の拠点となります。



## 3町村の紹介

### 阿蘇を拓いた神々のふるさと

#### 一の宮町

面積：105.53km<sup>2</sup>

人口：10,054人 世帯数3,253(平成12年国勢調査)

町制施行：昭和29年4月1日

一の宮町は農業が基幹産業であり、「うまい米づくり」の推進とともに、トマト、ゆい、仔ごなどが生産されています。阿蘇神社には、建磐龍命をはじめ12柱の神が祭られています。火振り神事や御田植祭りなど「阿蘇の農耕祭事」は現在も行われ、多くの観光客で賑わいます。

また仙酔峡や古墳群などを有し、美しい環境や地域資源を活かしたまちづくりに力を入れ、「明るく」「住みよい」「豊かな」まちづくりを推進しています。

### 緑と大地と心ふれあうまち 阿蘇

#### 阿蘇町

面積：199.36km<sup>2</sup>

人口：18,667人 世帯数5,962(平成12年国勢調査)

町制施行：昭和29年4月1日

阿蘇町は米を中心として、トマトや仔ご、ゆいなどを栽培する複合経営を行っています。また雄大な阿蘇の草資源を活用した肥後の赤牛の生産など畜産振興を積極的に進めています。

阿蘇山を中心とした観光振興に加え、阿蘇の火まつりなどの行事が継承され、地域の個性を活かし、環境及び資源を重視した、農・観・商一体となったまちづくりを進めています。

### 神楽舞うすずらの里 なみの

#### 波野村

面積：71.36km<sup>2</sup>

人口：1,736人 世帯数519(平成12年国勢調査)

村制施行：明治22年4月1日

波野村は、高冷地の自然条件を活かしたキャベツ、大根、トマト等の野菜に赤牛の生産を併せた複合経営農業と、杉材の生産を主とした林業振興を進めています。

また、地域活性化の活動拠点施設である神楽苑を中心に、神楽による文化振興や都市と農村の交流による地域づくりを進めており、農林業と観光振興に力を注いでいます。